

静岡県認定農業者協会だより

VOL : 35
2018年6月

〒420-0853 静岡市葵区追手町9-18（静岡中央ビル7F）
静岡県認定農業者協会（事務局：（一社）静岡県農業会議）森下・山城
TEL 054-255-7934 FAX 054-273-4314

I 第22回全国農業担い手サミット in しずおか実行委員会が設立

- ・5月24日、静岡県庁において、「第22回全国農業担い手サミット in しずおか」の実行委員会設立総会が開催されました。
- ・当日は、農業者組織、農業団体、教育、観光、警察等25組織の代表が集まり、実行委員長に当協会の水崎会長が、副委員長に農業者組織代表の8人が選任されました。また、平成30年度には、大会テーマ募集、協賛金募集、山形県サミット引継式参加、プレイベント開催等に取り組むことになりました。
- ・サミットは、全国から農業の担い手2,000人を集め、相互研鑽・交流を通じて農業経営の改善や地域農業・農村の発展につなげることを目的に、平成31年秋に静岡市をメイン会場に県内7地域において3日間開催されます。
- ・水崎委員長からは、「幅広い農業の担い手が力を合わせ、本県の魅力を全国に発信し、地域の農業が元気になるような大会にしたい」と決意が述べられました。



設立総会：難波副知事挨拶

II 全国農業担い手サミット成功のポイントと認定農業者組織の強化策！！ （静岡県認定農業者協会第15回通常総会 記念講演要旨）

講師：第20回全国農業担い手サミット in こうち実行委員会委員長 野村 和仁 氏

1 実行委員会段階の取組

- ・高知県では、農業関係の組織・団体、観光、教育、警察等32団体に参加いただき、実行委員会を設立しました。
- ・サミットの中身については、実行委員会の中の担い手組織10団体の委員により幹事会を立上げ、かなりの時間をかけて議論しました。
- ・最も苦労したのが、サミットの方向性を見出すことで、多くの時間を要しました。高知県では、後継者育成、小面積でも売り上げを伸ばしている家族経営、農業者の社会貢献等をアピールしていきたいと考えました。
- ・静岡県においても、農業の特徴、農家や関係機関が抱える問題について議論しながら、準備を進めてもらいたいと思います。

2 地域運営委員会段階の取組



野村実行委員長記念講演

・各地域では、一緒にサミットを盛り上げていこうという雰囲気をつくるのが大切です。静岡県では、先ず、本年開催の山形県サミットへ多くの方に参加してもらうことをお勧めします。また、参加出来なかった人のためにプレイベントを開催し、サミットの雰囲気を理解してもらうのが大切です。

・準備を進める過程で、県と地域において、微妙な食い違いが出来てしまうことがあります。高知県では、地域運営委員長を集めた会議を開催し、各地域の進捗状況を確認しあう場を設けました。

・静岡県の皆さんは、次期開催県として山形県サミットで挨拶をすることになります。このため、秋までには、地域交流会等の内容を大まかに作り上げておく必要があります。

3 今後の取組

- ・高知県では、34市町村のうち認定農業者組織が17と半分しか組織化されていませんが、未組織の市町村もサミットには熱心に取り組んでいただきました。
- ・サミットの準備の過程で、農業に山積する諸問題を何処かが束ねて、行政と語り合う機会を作りたいという意見が出されました。認定農業者組織が、そのような役割を担うことが出来れば、組織の新たな魅力に繋がるものと考えております。

4 結び

- ・全国の皆さんをお迎えするのに、「これが正解だ」というものはありません。形を真似るのではなく、皆さん一人一人が、どうしたら「静岡に来て良かった」と感じていただけるかを考えて、準備を進めるのが大切です。

※静岡県認定農業者協会は、静岡県農業振興公社と連携協定を結び、農地中間管理を活用した農地の集積・集約化を推進しています。

みんなの力を結集し、農地を守り、農地を活かす。 未来に向かって話し合いを進めましょう!

農地中間管理機構・静岡県農業振興公社 があなたをサポートします。

農地を貸したい!

①申込み
②借り受け

農地出しの手

- 後継者がいない
- 耕作が困難
- 農地が余っている

●メリット

- 安心して貸すことができます。
- 賃料は確実に受け取ることができます。
- 個別に交渉する必要がありません。

④賃料

農地を借りたい!

①応募
③貸し付け

農地受けの手

- 規模拡大したい
- 農地を集約したい
- 農業を始めたい

●メリット

- 経営規模の拡大や集約化ができます。
- 借り入れ期間中は安心して耕作できます。
- 賃料の支払いは、機構(公社)1か所だけです。

④賃料

市町・農業委員会・農協

連携・情報共有

農地中間管理機構(公社)

- 担い手の公募
- 農地の借り受け
- 農地の貸し付け

農業生産基盤事業も利用できます

耕作条件改善事業
簡易な基盤整備
機構関連事業
面的な基盤整備

※詳細は公社または県農地利用課にお問い合わせください。

皆さんが大切にしている農地を農業振興公社が一旦お預かりして、次の世代の担い手の方に貸し出し、活用してもらいます。公的機関の公社が、間に入りますので、安心して貸し借りができます。農地を未来へつなげます。農地を守り、環境を守り、農業を元気にしていきます。

静岡県農業振興公社
理事長 大谷徳生

農地中間管理機構
静岡県農業振興公社
静岡市東区成手町 9-18
静岡県 農業振興公社

検索